



市川市立第三中学校
第1学年だより No.1
令和7年4月9日

あいさつと思いやりのあふれる学年

御入学おめでとうございます。少しずつ、暖かさを感じる日が増え、季節が本格的に変わり始めた今日この頃。皆さんの入学を、楽しみに待っていました。今日は、どのような気持ちで登校したでしょうか？期待と楽しみで胸がいっぱいだった人、クラスにどんな人がいるのか不安だった人、新しい通学路にキョロキョロしていた人、さまざまな人がいたと思います。そんな 296 名が、中学校3年間を共にする「仲間」です。

私は、あまり「仲間」という言葉を、自分では使わないので意味を調べてみました。諸説あるようですが、私が一番しっくり来たのは「友達のような仲の良さは必要ない。最終的に、互いに認め合う間柄。」でした。3年間も一緒にいると、嬉しいことが数えきれないくらいあるでしょう。その反面、苦しいことも悲しいことも同じくらいあるでしょう。でも、最後は認め合えるような「仲間」であってほしいと思っています。

そんな仲間を目指すためには、「思いやり」が必要です。思いやりとは、私は毎日のコミュニケーションだと思っています。たくさん、喋りましょう。たくさん、笑いましょう。コミュニケーションが苦手な人もいます。そんなときは、「少しの」思いやりで大丈夫です。1日の始まりは、いつの時代も変わりません。「おはよう！」その一言から「あいさつと思いやりのあふれる学年」を始めましょう。

保護者の皆様、環境も変わり御心配も多くなるとと思いますが、「思春期」と呼ばれるこの時期の成長を、職員全員で支えていきます。小学校とは違う部分も多々出てくるとと思いますが、皆様の御理解と御協力を、よろしくお願いします。